

# 独立行政法人国立病院機構 信州上田医療センター

## 1. 病院概要

- 院長 藤森 実
- 研修実施責任者 吉村 康夫
- 病床数 総数：335床（一般：331床／感染：4床）
- 診療科目 内科/総合診療科/脳神経内科/呼吸器内科/消化器内科/循環器内科/腎臓内科/糖尿病内分泌代謝内科  
血液内科/緩和ケア内科/精神科/小児科/消化器外科/呼吸器外科/心臓血管外科/乳腺内分泌外科  
整形外科/形成外科/脳神経外科/皮膚科/泌尿器科/産科/婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/放射線科  
リハビリテーション科/歯科口腔外科/麻酔科/病理診断科
- 研修の特徴
  1. 上田2次医療圏（人口約21万）唯一の基幹病院としての救急・総合診療・専門医療  
 当院は当医療圏の2次救急を担い、多くの救急患者を受け入れており、昼の救急当番や夜間研修で上級医の指導下、十分な経験を積めます。総合診療では患者の訴えから診断までを指導医と共に学びます。また、病診連携により専門的な診断・治療の必要な患者の紹介も多く、幅広い分野の症例を学ぶことができます。
  2. 充実した指導体制  
 多くの科では、指導医・信州大学などからのローテーションの後期研修医と共に患者を受け持つ体制であり、科全体で研修医を育てる体制となっています。
  3. シミュレーター研修・研修医勉強会・症例検討会・学会発表など  
 採血・血管確保・気管挿管から心肺蘇生等シミュレーターを使って基礎的な研修ができます。また、研修医を中心とした勉強会(各科医師による講義・抄読会・総診救外カンファレンス)を毎週行っています。さらに、院内や地方会などでの症例報告の発表も積極的にするように指導しています。
  4. 研修科ローテーション選択の柔軟性  
 研修科の選択や研修期間の決定は、各研修医の研修進行度と希望を加味して随時選択、変更可能としており研修中に興味を持った診療科の研修を随時組み込むことも可能となっています。
- 所在地 〒386-8610 長野県上田市緑が丘1-27-21

## 2. 年間計画表

(例) 1年目を本院にて研修する場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (24週)						救急 (麻酔) (4週)	小児 (8週)		外科 (6週)	産婦 (6週)	精神 (4週)

(例) 2年目を本院にて研修する場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年目	内科 (6週)	小児 (8週)	必修科または 選択科(8週)		地域 (4週)	選択科 (8週)	内科 (4週)	必修科または選択科 (14週)				

※ たすきがけ研修医については、信州大学の臨床研修の基本方針に従って本院での研修計画を立案します。

## 3. 必修科・選択科

内科	1年目は本院にて20週以上の研修を必修とする。腎臓内科・脳神経内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科、糖尿病内分泌代謝内科より選択する。20週を連続して研修をする必要はない。 2年目で研修を希望する場合は、必修科または選択科の期間にて研修を行う。
外科	1年目もしくは2年目に研修を希望する場合は、必修科または選択科の期間にて研修を行う。
小児科	1年目に本院にて4週以上の研修を必修とする。 2年目で研修を希望する場合は、必修科または選択科の期間にて研修を行う。
産婦人科	1年目もしくは2年目に研修を希望する場合は、必修科または選択科の期間にて研修を行う。

精神科	1年目もしくは2年目で研修を希望する場合は、千曲荘病院、栗田病院または小諸高原病院にて4週以上必修科または選択科の期間で研修を行う。
救急研修	本院にて4週を麻酔科研修とし、その他は夜間休日救急研修（昼間は9:15～17:15、夜間は17:15～23:15）で研修を行う。 2年目に救急研修を予定している場合は、その期間を考慮して研修内容・期間を計画します。
地域医療研修	2年目に4週以上、地域医療研修先である病院、診療所等の研修を必修とする。 （地域医療研修先病院・診療所） 国保依田窪病院 上田腎臓クリニック
一般外来研修	地域医療研修に加えて、各内科研修（週1回、半日あるいは1日）、小児科研修（小児科一般外来研修を週1～3回、半日）で並行研修するように計画します。
麻酔科	本院での麻酔科研修の受け入れ可。 信州大学医学部医学教育研修センターと相談しながらスケジュールを調整します。
選択科	腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内分泌代謝内科、小児科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、乳腺内分泌外科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、麻酔科、精神科、皮膚科、リハビリテーション科、病理診断科、放射線科

#### 4. 処遇

身分	期間職員
勤務時間	8:30～17:15（週35時間勤務相当に調整） 週5日勤務、年次有給休暇あり（1年次:20日、2年次:20日）、リフレッシュ休暇あり 夜間休日救急研修あり（平均月3回前後、昼間9:15～17:15、夜間17:15～23:15）
給与	支給額（時間外手当・当直手当・賞与含む/年額）：1年次 約6,500,000円 2年次 約7,500,000円 学会参加費支給あり（6万円/年以内）
社会保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
健康管理	健康診断：年2回 その他（クオンティフェロン検査、インフルエンザ予防接種、B型肝炎予防接種）
医師賠償責任保険	病院が加入：しない 個人加入：強制
外部の研修活動	学会、研究会等への参加：可 学会、研究会等への参加費用支給の有無：有（上限あり）
宿舎	院外借り上げ宿舎 単身者向け（1LDK） 家賃 自己負担額約19000円～21000円/月 家族入居希望者については空きがある場合、病院宿舎を紹介します。